

赤池まさあきの決意

**政策1：我が国の発展・成長の柱として
人づくりに取り組みます**

日本の発展は人づくりによって支えられてきました。少子高齢化、技術革新、国際化等、時代の変化に伴って、道徳教科化、教育無償化、職業教育をはじめとした教育再生の取り組みが始まりました。伝統と文化を尊重し、生まれ育った郷土や国を愛する心を持ち、国益を支える公徳心を備え、働く意義を理解した人材を育てることが我が国の発展・成長の柱です。

**政策2：自分の国は自分で守る
態勢づくりに取り組みます**

日本は、価値観を異にし軍拡する国々に囲まれ、安全保障をおろそかにできません。我が国の主権や国民、領土・領海・領空、海上交通路を守る態勢を整備し、価値観を共有する国々との連携が不可欠です。日米同盟は強化されてきましたが、今後は対外情報機関も設立すべきです。また、歪んだ歴史認識を正しつつ、憲法改正し、「自分の国は自分で守る」国民の意識を育むことが重要です。

**政策3：力強い日本経済の復活に
全力を尽くします**

日本経済はデフレ不況を脱しつつあり、経済再生・地方創生が成果を出し始めました。安定的な成長には、日本銀行の思い切った金融政策に呼応し、より積極的な財政政策が必要です。成長戦略の下、人や物の流通基盤の整備や、革新的な科学技術の社会実装、文化・スポーツの観光との連動等、労働生産性を上げて賃上げに繋げ、投資と消費の好循環で力強い日本経済の復活を目指します。

赤池まさあきプロフィール

昭和36年、山梨県甲府市生まれ。明治大学政治学科卒業。松下政経塾で松下幸之助氏に「人づくり」の重要性を学ぶ。自動車整備士養成の専門学校長を経て、衆議院議員に当選。清和政策研究会に所属。平成25年参議院議員選挙比例代表[全国区]で国政復帰。自民党副幹事長、参議院国土交通委員会理事、憲法審査会幹事、文部科学大臣政務官、党治安テロ対策調査会事務局長、参議院文教科学委員会委員長等を務める。現在は党文部科学部会長 2期目。

<https://www.akaike.com>

[赤池誠章後援会 事務局]

〒400-0032 山梨県甲府市中央1-1-11-2F
TEL055-237-5523 FAX055-237-5281

[国会事務所 連絡先]

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館524号室
TEL03-6550-0524 FAX03-6551-0524

参議院選挙の 投票方法

①②と2回投票します

① 都道府県選挙区

都道府県選挙区
1枚目
各都道府県の候補者名を書いて投票します。

② 比例代表（全国区）選挙

（全国区）
2枚目
全国どこからでも、比例区の候補者名を書いて投票できます。
（政党名でも可）

比例代表選挙は、政党名およびその政党に属する候補者個人への投票数の合計に応じた各政党への議席配分から、候補者名での投票数の多い順に当選者が決まる非拘束名簿式です。

《後援会入会のご案内》

日々勉強、
結果に責任！

参議院議員 比例代表(全国区)

赤池
まさあき

赤池まさあきの取り組み



- ◆ 2020年オリパラ東京大会に向け、ゴルフ競技における差別の解消に取り組む。党文科部会長として、2期に渡り、党税制調査会でゴルフ場利用税廃止を訴え、市町村とゴルフ場との共存共栄を目指した協議の場を設ける。

- ◆ 自動車議員連盟所属、自動車整備議員連盟常任幹事として、自動車の車体課税の恒久減税に尽力。自動運転実用化に向けた法改正に取り組む。
- ◆ 安心・安全なクルマ社会実現のため、整備不良車ゼロを目標に、車検証へ定期点検整備記録の記載を盛り込むことに尽力。さらに、自動車手続OSS(ワンストップサービス)を推進し、車検証自体の電子化に力を注ぐ。
- ◆ 党二輪車問題対策PTに所属。バイク大国に相応しい「バイク文化創造」を目指し、国内市場の活性化や、交通安全教育等を推進。

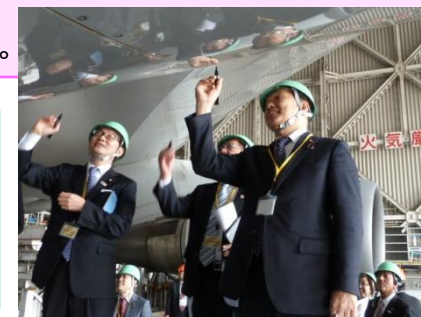


- ◆ 海事振興連盟常任幹事、海洋教育推進PT座長を務める。各地で海洋教育推進PT勉強会を開催し、海事関係者や教育関係者で意見交換を行う等、海洋教育推進のための様々な活動を展開。学習指導要領改訂時には、海事産業の重要性の記載が実現。

- ◆ 外交部会等に対中ODAの必要性に疑義を呈し続ける。5年間の主張が実り、対中ODAは終了。
- ◆ 外交部会等で日本の立場を主張し続け、外交青書に「『軍や官憲による強制連行』『数十万人の慰安婦』『性奴隷』は史実とは認識していない」と初めて記述される。
- ◆ 党拉致対策本部で朝鮮学校への自治体助成金の見直しを主張し続ける。文科省が見直し通知の発出を決め、各地で助成金の見直しが進むことに繋がった。

- ◆ 党治安テロ対策調査会で事務局長を務め、テロ対策の強化を安倍総理に提言。H29年テロ等準備罪成立に繋がる。

- ◆ 中央自動車道渋滞緩和や中部横断道早期開通に向け議員連盟を結成。事務局長を務め、小仏トンネルに並行するトンネルの新設や、渋滞個所の三車線化等を実現。中部横断道南部区間については、予算確保を通じ、来年度中の全線開通に繋げる。また、新山梨環状道路の甲府・石和間の整備を要望。決定にいたる。
- ◆ JR中央本線の利便性向上に向け、議員連盟を結成。事務局長を務め、新型特急の導入に尽力するとともに、来年度の携帯電話不通区間の解消に目途をつける。



国づくり、地域づくりは、人づくりから